

六葉会 会報

Vol.22



1997



1998



1999



2000



2001



2002



2003



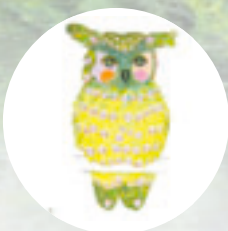
2004



2005



2006



2008



2009



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>

故 島谷 晃さん(10回生)の想い出

初めて島谷さんに会ったのは、神奈川県民ホールの二階の展示場だった。今から十数年前のことである。島谷さんたち仲間の共同の展示会だったように記憶している。五十号ぐらいのキャンパスの絵であった。そこには画面いっぱい二匹のフクロウの絵が描かれていた。何とも奇妙なことにそのフクロウの羽の二枚一枚の先端に人間の顔が描かれていた。現代美術に疎い僕には何が何だか解からなかった。しばらく観ていると本人が現れて、この絵の説明をしてくれた。「僕のこの絵は海外の特に西洋人にすごく受けがいいんだよ。」とやさしい口ひげの顔をシワクチャにして自慢げにおっしゃっていました。「だから、もっと日本人に解かってほしいんだよ。ニューヨークにいたときは人気抜群だったんだよ。」とても人に優しく接してくれる先輩でした。

六葉会の会報の表紙をいつも快く制作を承諾していただき、つい甘えて「また表紙をお願いします。」忙しいのに悪いな。と思いつながらつついとお願ひしていました。

今、想い出すと「江の島の岩本楼知ってる?」「エエ?」と言うと「あのさあ、あそこ海の女神の絵は僕が描いたんだよ。」と楽しそうにお話ししてくれました。後日、岩本楼でその絵を見る機会があった。「八臂弁財天と海の女神と五頭龍の物語」という立派な名前がついていた。なんとも優雅な三次元のカラフルな天国の絵巻物であった。きつと昔、弁財天と海の女神と五頭龍が江の島に現れたという伝説にもとづく作品であったに違いない。

島谷さんいつも六葉会報の美しい表紙を作っていたきありがとうございます。役員一同これからお礼申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。

六葉会 顧問 西岡 義榮(14回生)



1943年7月1日／藤沢市に生まれる。

経 歴

1962年／関東学院六浦高等学校卒業(10回生)
 1967年／早稲田大学第一文学部文科美術学専修卒業
 1976年／5月より1977年4月までオランダ・アムステルダム遊学
 1988年／9月より1989年8月まで文化庁芸術家在外研修員及び
 日米芸術家交換計画派遣芸術家としてアメリカ・ニューヨークにて研修
 1990年／第6回カナダ青年画家シンポジウム'90に招待(ケベックにて壁画製作)
 1996年／鎌倉市岩瀬の西念寺、天井絵『鳳凰飛翔図』等3部作を完成
 2001年／島谷晃の世界展(池田20世紀美術館企画)
 2003年／南フロリダ美術センターにて個展
 2010年 5月 ご逝去

CONTENTS

会長挨拶	永野 肇	1	同窓会レポート 6回生/33回生/37回生	12
校長挨拶	河合輝一郎	2	六葉会会報デジタル化のお知らせ	15
先生方の近況など		4	第20回生 あかばつち開催	15
岩楯幸雄先生を偲んで		7	六葉会 幹事総会のご報告	16
坂井先生ありがとうございます		8	2010年度 六葉会 予算案	17
親睦ゴルフレポート		10	関東学院六浦中学校 入試試験要項	18
六浦祭へ行こう!!		11		

第58回生をお迎えして

六葉会会長 永野 肇

(第8回生)



第58回卒業式が3月1日に行われ、198名に卒業証書が授与されました。式の中で六葉会会長としてお祝いの言葉を述べましたが、8回生の私としては50年の歴史に思いを馳せました。関東学院六葉会の新しいメンバ

ーの誕生です。

学院は昨年125周年を迎え様々な記念行事が実施されました。特に六葉会の皆様には六浦中高の校舎建替えのために多くの募金をいただきました。心から感謝申し上げます。在校生は新しい教育環境の中で学校生活を過ごしております。六浦中高は4月より落越道彦前校長に代わり河合輝一郎校長が就任しました。母校発展のために少しでも力になればと思います。

さて、昨年度は、皆様もすでにご承知のように坂井雅澄先生と岩楯幸雄先生とお二人の先生が

逝去されました。私も中学・高校そして教員生活を通して大変お世話になりました。数々の思い出が去来いたします。さらに、今年の5月、長年にわたり六葉会会報の表紙を描いて下さった10回生の島谷晃さんが急逝されました。感謝と共に心から哀悼の意を表します。

2010年度の六葉会は新しいスタッフでスタートしました。一人でも多くの卒業生が参加できるように、それぞれ忙しい中で様々な事業に取り組んでおります。卒業生の皆様どうぞ積極的に行事に参加して下さい。

改革に向けて

ますますのご支援を

関東学院六浦中学校・高等学校校長

河合 輝一郎

六葉会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。

今年の四月より関東学院六浦中学校高等学校の校長として赴任してまいりました河合輝一郎と申します。1948年生まれ、今年で62歳になりますが、世間では我々戦後生まれの者（1947～49）を総称して「団塊の世

代」と呼んでいるようです。昔の仲間はすでに定年退職を迎えて悠々自適？の生活を送っています。それなのに、なんでまた六浦中高の校長などにとお思いの方々もいらっしゃると思います。ところがそれ「団塊」のなせるところでございます。「団塊」とは辞書的には「たくさん」の物が集まってできたかたまり」



という意味を持っています。高校時代は男子校で1クラス70数名、13クラスのなかで育ってまいりました。「かたまり」と言われれば、なるほどと頷いてしまふほど周りにはたくさん仲間が群れていました。「誰が生

徒か先生か、みんなでお遊戯しているよ」メダカの学校ではありませんが、まごまごしていると自分の存在がどこかへ行ってしまう。まわりの頭を押さえつけて何とか目だとうとする者、逆に集団に紛れてちゃっかりうま味だけを手に入れる者、それこそ千差万別でございましたが、基本的にはこういう形であれ、自分の存在をかけ、自分の意思を他者に強くアピールしていく、それが我々団塊の世代の特徴でございます。

皆様もご存じのとおり、学校を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。教育の荒廃が叫ばれて幾久しくなりますが、今日にいたるまでそれぞれの学校での熱心な取り組みはあるものの、これで良しとするもののがなかなかできないでいる現状です。

関東学院六浦中高もその例にもれません。2007年から新体制が導入され、時代の求めに則したカリキュラムによる教育を実施してまいりましたが、学校に対する世間の評価には依然として厳しいものがございます。

また現在、理事会を中心に関東学院全体の改革が推し進められておりますが、長年親しんできた体制からなかなか脱却できないで悪戦苦闘しているのもまた事実でございます。そういうなかにあつて今私どもがすべきことは何か。それはいたずらに危機意識を煽るのではなく、冷静な視点をもつて現実をしつかり把握し、欠けているところ足りないところを効率よく補充し、同時に次のステップにむけての戦略を確実に構築することなのです。赴任して4カ月、先生方

との共通認識を持つべく様々な形で議論をしておりますが、それだけでは十分といえません。関東六浦中高の伝統とその伝統に支えられた「六浦らしさ」に新しい息吹を注ぐためには、六葉会の皆さま方の力強いお支えとご協力を賜りますことが今何よりも求められているのでございます。

団塊の世代は押し合いへし合いのなかで生きてきましたから、ちよつとやさつとのことで音をあげることはいたしません。ある意味頑固者でございます。しかし、学校に対する情熱、教育にかける信念は人一倍持つていると自負しております。そういう私ではございますが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

先生方の近況など

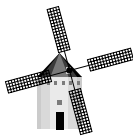


2010年6月4日(金)に鎌倉の銀座アスターで恩師の皆様とのOB会が行なわれました。今回で第29回となるこの「教員OB会」には沢山の先生方が出席され、毎回盛会となっているそうです。今回も20名以上の先生方が出席され大変賑やかなOB会となったようです。

第29回OB会で配布された小冊子に先生方の近況などが掲載されているので以下にご紹介させていただきます。恩師の皆様のメッセージが、短いながらも非常に臨場感が高く、そ

してお顔が目には浮かぶように懐かし
く感じられます。

OB会を取りまとめていらつしやる
幹事の先生のご苦勞に感謝すると
もにこの「教員OB会」が末永く継続
されることを心よりお祈り申し上げ
ます。末尾になりますが本稿を作成
するにあたりご協力いただいた国近
高龍先生に感謝いたします。



村松 信雄 先生

近況は、たいして変わりません。
相変わらず医者通いの日々です。も
う少しピシリと渴が、体に入るとい
いのですが。

相原 寅雄 先生

今年は、庭に植えた牡丹に、大輪
の花がこぼれ落ちるほど咲き、目の
保養になりました。菜園は、縮小し
て、体に無理のないように、出来の
如何に拘らず、新鮮な物が手に入る
喜びを味わっています。

伊藤 清 先生

二月中旬には、大雪の裏磐梯へ、
四月中旬には福島県の三春、花見山な
ど、下旬には十日町と高山へ行きま
した。今年の異常気象で雨や、時な
らぬ雪に遭い大変でした。疲れても
歩き廻るのが、今の自分にとっての
健康法だと思っています。歩けるうちは…。

秦 克彦 先生

目下のところ、急な腰痛で苦しん
でいますが、何とか早く治って出席
したいと願っています。

曲淵 憲介 先生

ご案内ありがとうございます。相
変わらずの日々です。皆様によろし
くお伝え下さい。

荒井 貞 先生

幹事の先生方、毎回お世話になり、
感謝しております。お陰様で皆様に
お目にかかれるのを楽しみにしてお
ります。当日はどうぞよろしくお願
いいたします。

山内 善之 先生

残念ですが、家事都合のため欠席
させていただきます。私も年を感じ
ながら、趣味の方も、ぼつぼつとし
ております。OB会の皆様のご健康を
心からお祈り申し上げます。



藤田 進 先生

落越先生、木下先生、歓迎会を兼
ねたOB会に出席いたしました。皆様
にお目にかかれるのを、楽しみにして
おります。体力が衰え、耐久力も衰
え、写真撮影に影響しております。

福田 淳恵 先生

相変わらずの毎日が続いています
が、何とか一日が終わると、ほっと
します。皆様にお目にかかれるのを
楽しみにしています。

国近 高龍 先生

御蔭様で元気にしております。最
近、思うように身体が動かず、もど
かしい思いをすることが増えてしま
した。まだまだやりたいこと、行き
たいところ沢山ありますので、焦ら
ず頑張りたいと思っています。

奥山 繁樹 先生

毎回連絡ありがとうございます。
御蔭様で元気でゴルフを楽しんでい
ます。今年も大学、中高のゴルフ講
座が始まり手伝っています。

安達みな子 先生

年2回のOB会の企画、連絡等々有
難うございます。退職してから始め
た、週2回の体操、コーラス。水彩
画、夜のウォーキングを続けていま
す。続けられる幸せと、何時か出来
なくなるという不安とを感じるよう
になりました。七月にはコンサート
があります。

野村 利孝 先生

ご連絡ありがとうございます。
今回は、旅行のため参加できなくな
ってしまいました。今年は寒暖の差
が激しいので、皆様もお元気で過ご
してください。

佐々木智子 先生

四月下旬から五月下旬まで、いろ
いろな仲間とのミニ旅行を計画し新
緑を楽しんでいます。六月は上旬と
下旬に、展覧会があり、旅行の合間
に折り紙の製作に頑張っています。

萩原千鶴子 先生

新会員をお迎えするが楽しみです。
充実した日々を過ごしているつもり

ですが二倍速、三倍速で月日が飛び去っていくようでオソロシイです。

永野 肇 先生

ご案内ありがとうございます。
仕事の都合で出席できなく残念です。皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

伊藤 孝一 先生

尾道「千光寺」より、向島、因島が浮かぶ瀬戸内海の眺望に接しました。旧海軍工廠跡「アレイからすこじま」の歴史に触れてきました。数回目ですが、原爆ドームの前に立ちました。政治、歴史、文化を考えました。お世話様ですが、今年もよろしくお願い致します。

浮田 檀子 先生

今年二月に、70歳、古希を迎え、横浜市の敬老特別乗車証を受け取りながらなにやら急に歳を感じ、さらに健康に注意しなくては思っている今日です。東海道五十三次、一月に完歩し、四月から奥州街道にチャレンジしています。青森、三厩までいつ着くことか…。「五月栃木県鍋

掛宿です。頑張ります。」

国津 師郎 先生

ご配慮をいただき有難うございます。OB会の皆様に再会出来ますことを、大変楽しみにしています。近況ですが、在職中に出来なかつたことを、時間をかけて取り組んでいます。

長谷川洋三 先生

連絡有難うございました。相変わらず小さな子供たちを相手に元気に過ごしています。皆様にお会い出来るのが楽しみです。よろしくお願い致します。

犬塚 志朗 先生

皆様にお会いできることを楽しみにしていましたが、突然当日予定が入ってしまいました。とても残念です。盛会をお祈りします。

加藤 芳信 先生

三月で六浦の手伝いも終わり、四月から某大学をお手伝いをしています。皆様とお会い出来るのを、楽しみにしております。

鈴木 茂 先生

いつも連絡ありがとうございます。
元気に生活しています。

落越 道彦 先生

OB会の会員に加えていただけましたこと、また、第29回OB会にお誘い下さいまして、本当にありがとうございます。三月迄と違う時間の流れを味わっています。皆様にお会い出来ることを楽しみにしています。

木本 喜將 先生

よろしく願います。



岩楯幸雄先生を偲んで

矢部 一郎（第11回生）



昨年の早春、「矢部君ですか、お久しぶりです。岩楯です」とのお電話を40数年ぶりに奥様から頂きました。その瞬間から、私は、初めて岩楯先生ご夫妻にお会いした中学1年の冬に戻りました。それは、ご近所の生徒さんらを招いてのご自宅でのアットホームなクリスマスの集い。私は、キリスト教徒のご家庭にお邪魔するのは初めてで、睦まじいご夫妻の温かさ、爽やかさが強く印象に残っています。以来、高校卒業までの間、教室で直接先生に教わる機会はありませんでしたが、いわば課外授業で、その人となりからの教えを賜りました。

お電話によると、先生はご病気で入院中とのこと。奥様は将来の選択

肢の一つとして、特養ホーム等の勉強をなさり始めている最中、私が逗子市に高齢者専用賃貸住宅「桜山ハイム結生」を立ち上げているのを知りになり、お電話下さったのでした。40数年ぶりのこの接点は、「神様のお導き」としか言うすべがありません。

先生は、当時久保山におられたご家族全員を横浜空襲で亡くされ天涯孤独となられた、とのお話を伺ったことがございますが、私の存じ上げている先生は、説教じみたことは一切なく、語りはほくとつで、教える言葉よりも笑顔をはじめとするattitudeを示して下さいました。また、失礼を顧みず言わせて頂くならば、ニックネーム「キューピー」に代表

される愛嬌は、お別れするまで、明るくそのままでした。

お話によると、先生の入院生活は一年9ヶ月に及ぶもので、奥様は病室で毎日先生と昼食を伴いにしながら先生を支え、帰宅してはご自宅で折り、その愛情あふれる真っ直ぐで純なお姿に、私は心を打たれました。

そして、奥様から最初にお電話を頂いてから先生が亡くなるまでの一年余の間、ご夫妻と何度か病院でお会いしているうちに、急速に私の中で蘇り、膨らんでいったものがあります。それは学院の校訓「人となれ、奉仕せよ」です。還暦もとうに過ぎた今、私にこれからの人生を送る指針を与え、背中を押してくださいました。

先生、ありがとうございました。

平成22年2月25日ご逝去、享年85歳。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

註）奥様が、岩楯幸雄著「余暇の考究」（平成21年5月20日発行）を上梓されておられます。

坂井先生

ありがとうございます

横地（旧姓 吉田）康子（32回生）

「おまえ本気なのか？」高三の12月になって突然、音楽の道に進みたいと言い出した私の言葉に驚いた坂井先生のお顔が今も目に浮かびます。坂井先生には、中二から高三まで所属したグリークラブでお世話になり、高校生になってからは音楽の授業を受け持っていていただきました。グリークラブでは、ルネッサンスのポリフォニーの合唱の世界へ私たちを導いて下さり、その不思議な美しさに夢中になりました。音楽の授業では、リコーダーの課題に簡単なバッハのプレリュードなどをわかりやすくご指導下さり、10代の私たちを本物の

芸術に触れさせて下さいました。そして、私にとって忘れられない一ヶ月がやってきます。高校三年間理数クラスで薬大を目指していた私は、どうしても大好きな歌を諦め切れず、高三の12月にその気持ちを坂井先生に打ち明けました。最初は驚かれていた先生でしたが、大反対の両親を説きふせ、薬大合格通知が来た翌2月中旬から、坂井先生と一ヶ月間の音大受験特訓が始まりました。毎日、先生の授業が終わる午後3時に音楽室へ通い、先生に紹介していただいたピアノと聴音の先生宅へレッスンに通う日々。それまでとは全く違う

世界へ飛び込んでゆく私に「知らないことをきくのは恥ずかしいことじやない、子供の頃からの訓練がなくても歌の心を持っていることが大切なんだよ。」と励まして下さり、無事音大合格を果たせたときには我が事のように喜んで下さいました。けれど音大卒業後、結婚、夫の転勤、出産と私も身の回りの事に追われ、先生もご病気がもとで車椅子の生活になられ、ここ数年、先生とはお年賀状のやり取りと、六葉会HCDでちらっとお会いする程度になってしまっていました。平成20年6月のこと、突然坂井先生から学院創立12



5周年記念コンサートの合唱を手伝ってくれないかというお電話をいただき、また再び学生時代に帰ったような坂井先生との交流が復活しました。平成20年、21年と2回の記念コンサートをご一緒させていただき、平成22年1月には私の初めてのソプラノリサイタルに賛助出演していただくこともできました。残念ながら、先生は平成21年夏ごろから体調を崩され、1月のリサイタルを最後に遠くへ行ってしまわれましたが、1月の舞台の上での坂井先生の笑顔は今も忘れられません。生前、先生は「関東学院六浦で仕事ができても本当によかった。」とよくおっしゃっていました。私も関東学院六浦で学ぶことができ、坂井先生に教えていただくことができ、感謝しています。おしゃれでいつもダンディな笑顔の坂井先生は、私たちが音楽を続けてゆく限り、いつも心の中に一緒にいらっしやいます。先生、本当にありがとうございました。

坂井 雅澄 先生 追悼コンサート

平成23年

9.10^土

13時半開場
14時 開演

神奈川県立音楽堂

混声合唱団「Bella Voce」 & 混声合唱団「鎌倉コール」

昨年、一昨年の学院創立125周年記念祝祭コンサートで坂井先生のもとに集まった仲間が、新たに混声合唱団「Bella Voce」として活動を開始しました。この合唱団は半数以上が六葉会会員で、あとの半数も関東学院とゆかりのあるメンバーで構成されています。また坂井先生がご自身も学生時代から歌われ、30年以上にわたって指揮をなさってきた歴史ある合唱団「鎌倉コール」のご協力を得てこのコンサートを行います。

コンサートの前半は坂井先生の愛弟子である横地（旧姓吉田）康子さん（32回生）のソプラノソロ演奏。後半は先生が愛されたモーツァルトのミサ曲K V 167とレクイエムを両合唱団の合同で演奏する予定です。

**混声合唱団「Bella Voce」に参加して、
坂井先生の追悼コンサートと一緒に歌いませんか。**

お問い合わせは、加藤 武（6回生）まで
メール：t.incantatio@nifty.com 携帯：090-6343-0166



奮って

親睦ゴルフ大会にご参加下さい!!

■告知

第4回 関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会

主催 六葉会
開催日 平成22年10月21日(木)
場所 キングフィールズゴルフクラブ(千葉県)

競技方法 ダブルペリア方式
スタート 8時OUT、IN同時スタート

当日受付時間 6時45～7時15

写真撮影 7時30分頃

募集人員 120名

申込み先 武田 正雄

FAX 045(324)0242

TEL 045(321)5345

masao-takeda@ken.biglobe.ne.jp

ブレイ代(参加費込) 20,000円

(昼食、ドリンク、パーティー代、

キャディーフィー込)

振込先 横浜信用金庫 本店

普通 668749

関東学院六葉会ゴルフ

幹事 武田正雄

※お願い 賞品の寄付を受け付けます。

ご協力をお願いします。

■報告

第3回 関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会

開催日 平成21年11月12日(木)
場所 キングフィールズゴルフクラブ(千葉県)

参加者数 82名

総合優勝 重光 達雄(25回生)

女子優勝 萩原めぐみ(26回生)



第5回 関東学院六浦・三春台中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会

開催日 平成22年6月3日(木)
場所 キングフィールズゴルフクラブ(千葉県)

参加者数 125名

総合優勝 水谷 豊樹(六浦、7回生)

女子優勝 岩崎 幸子(六浦、13回生)

団体の部 六浦校



六浦祭に行こう!!

2010年11月2日(火)～3日(祝)

3日(祝)には ホームカミングデーも開かれます♪

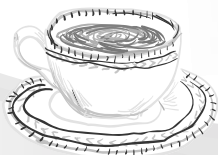
母校で例年の通り、生徒会主催の六浦祭が開催されます。中学生の展示や各クラブの出し物など沢山の催し物が準備されています。恒例となりました生徒たちの模擬店も賑やかに出店されます。

今年は3日(祝)に第6回ホームカミングデーが開催されます。懐かしい先生方も大勢ご招待しておりますので、是非お出かけ下さい。

式典：11月3日(祝) 午前11時より 礼拝堂
ティーパーティー：正午より 本館2F会議室にて

六浦祭を楽しみながらホームカミングデーにご参加いただき、母校での楽しいひと時をお過ごし下さい。

いつものように「六葉会の部屋」も設置します。卒業アルバムを見ながら一息ついていてください。
皆様のお越しをお待ちしております。



「古希を迎えて」

六回生同期会

加藤 武 (第6回生)

去る3月7日、横浜駅西口エクスルホテル東急に於いて、六回生の同期会が13年振りに開催されました。昭和14・15年生まれの六回生は、今年3月で早や古希を迎える歳になりました。当日は雪模様の寒い日でしたが、卒業生138名（永眠18名、消息不明8名）中50名が元気に懐かしい顔を見せてくれました。遠くは神戸から駆け付けてくれた仲間や、奥様に介護されての参加や、卒業以来初めての参加も数人いたりして、楽しい談笑の時間はアツと云う間に過ぎてしまい、話し足りない45名は二次会の会場へと、三次会・四次会へ熱い夜は続きました。当日の感想を寄せられた一文を紹介します。

「古希の六期会は、卒業後50余年、出席の方々それぞれさまざまの、人生の積み重ねが醸す豊かな空気、寒い日でしたけれどほかに会場を包みました。久しぶりの旧友の、知ら

なかった一面を発見したりして、楽しめました。歳を重ねるのも悪くないですね。また、皆が元気で集うことが出来ますように願っています。」

今回を機に、女子のクラス会は解散して六期会一本になりましたので、女子クラス会運営費が余りましたので、六葉会に寄付させていただきました。今後は、年一回の同期会を旅行なども企画して行いたいと思いますが、今回参加できなかった方々の反響が大きかったので、来年春にもう一度参加しやすい横浜で開催する予定です。

これを書いている間に、黒田享司君と出井昭君がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

最後に、名簿提供とクラス会運営費をご支援いただきました六葉会の皆様に感謝申し上げます。



感動!!

33回生同期会を振り返って

寺嶋 健一 (第33回生)

同窓生95名、先生方7名にご参加頂き、大成功に終わりました。

我々の同期会の開催は不定期ですが、今回は落越先生が昨年度末に校長をご退任されたこと、卒業以来四半世紀の節目の同期会と言うことから約1年の準備期間を経て開催に至りました。

個人情報管理が厳しい時代に卒業生215名に連絡を取ることは容易ではありませんが、六葉会(OB会)からの情報提供は互いが安全に連絡を取れる手段として最も有効と思えました。

会場はOBの前田先輩が主宰される横浜・山下町のレストラン「パパダヴィデ」をお借りし延々5時間が有効に使え大変好評で、広さ、料理、雰囲気全てを兼ね備えた場所は他には考えられ

れません。

先生方からお話いただいた当時のエピソードでは大変なご苦労ご迷惑をおかけしていたことで苦笑せずにはいられませんでしたがお元気に過ごされていることも何うことができ、皆喜んでおります。

長時間の歓談の時もあつという間に過ぎ、一生の友人としての絆を再確認する貴重な時間となりました。学友という全て偶然の運命の出会いから始まった33回生が25年の時を経て約半数もの人たちが再開できた奇跡のひとつでした。幹事一同、同窓生並びに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



37回生 学年同窓会の報告

長谷川 巧 (第37回生)

6月26日(土) 19時から横浜市関内のパセリリゾートにて、サッカーのワールドカップ開催の年に合わせ、今回で3回目になります学年同窓会を開催しました。

萩原千鶴子先生も駆けつけて頂き、遠くはアメリカから里帰りを兼ねて帰国した方、子供を旦那に預けての参加など、総勢54名もの同級生が集まり、仕事や育児の話、学生時代の思い出や近況報告などの話が尽きることが無く盛り上がり、二次会まで多くの方々に参加を頂きました。



萩原千鶴子先生



卒業して22年の年月が経った今もこうして笑顔で会えることに感謝し、4年後も多くの同級生が参加頂き、盛大に開催したく思います。



六葉会会報デジタル化のお知らせ

現在、六葉会では世界中どこにいてもネットワークさえ接続できれば会報を読むことが出来るように、会報のデジタル化に取り組んでおります。すでに六葉会ホームページから過去に発行された13年分の会報をご覧になることが出来ます。

▼このデジタル化が推進されると以下のような利点が生まれます。

(1) バックナンバーが簡単に読める

六葉会ホームページの「トップページ」→「六葉会からのお知らせ」→「会報」で1997年以降の会報をすべて読むことが出来ます。

(2) 予算が縮減できる

比較的に若い方たちには六葉会ホームページから会報を読んでもいただくことにより発行部数を減らすことができ印刷費用が縮減されます。

(3) 環境に優しい

紙の消費を減らすことにより資源保護にもつながります。

もちろん会報の印刷は継続していきますし、ご希望の方には従来と同様に紙媒体による会報をお届けいたしますが、六葉会で進めている会報のデジタル化にご理解をいただきご協力下さいませお願いいたします。

第20回生 あかばつち開催♪

10月2日(土) 午後0時30分より
横浜駅東口スカイビル28F イタリ
ア料理「アントニオ」で第7回「あ
かばつち」を開催します。卒業して
38年が過ぎましたが先生方も沢山お
招きしております。

一次会が無理な方のために午後3
時から二次会を予定しています。会
場は一次会と同じくスカイビル11F
創作料理の店「美食酒家ちゃんど」
です。飛び入りも大歓迎です。

第20回生の皆さん、いつもの通り
「全員集合♪」です!!

■アントニオ

横浜スカイビル28F

☎ 045-442-0688

■美食酒家ちゃんど

横浜スカイビル11F

☎ 045-440-1701

六葉会 幹事総会のご報告

6月7日午後6時より母校会議室において2010年度六葉会幹事総会が行なわれました。総会では2009年度事業報告及び会計報告、監査報告に引き続き、役員改選、事業計画、予算案が示されいづれも満場一致で承認されました。

役員人事では、今年度から「副幹事長」を設置することが承認され26回生の萩原孝さんが副幹事長に就任しました。

事業計画はほぼ例年通りでしたが、11月3日の六浦祭開催時にホームカミングデーを開催する事業計画などがすべて承認されました。



【2009年度決算報告】

2010年度
予算案（次頁）の1列目参照

【2010～11年度役員】

会 長	永野 肇（8 回生）
副 会 長	島根正隆（9 回生）
幹 事 長	高橋浩司（30 回生）★
副幹事長	野澤一良（20 回生）☆
会 計	萩原 孝（26 回生）★
	中田 努（34 回生）
	秋吉和史（35 回生）
会計監査	飯島幸子（5 回生）
	加藤 武（6 回生）★

★印 新任
☆印 再任

【2010年度事業計画】

- ① 総会の実施
- ② 常任幹事会の実施（原則として毎月）

③ 役員会及び委員会の実施

④ 会報の発行（10月上旬）

⑤ ホームカミングデーの実施（11月3日）

⑥ 六浦祭への参加

（六葉会の部屋 11月2日・3日）

⑦ ホームページの活性化

⑧ 125周年事業の継続（募金事業）

⑨ ゴルフ大会への協賛（10月21日）

⑩ その他、会員及び学校との連携を深めるための事業

【2010年度予算案】

次頁参照

今年度も母校への支援と会員同士の交流を会員の皆様と一緒に支えて行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2010年度 六葉会 予算案

◆一般会計

収入の部

科 目	2009年度決算	2010年度予算案	増 減	備 考
5 8 回 生 会 費	2,476,800	2,851,200	374,400	198名
5 9 回 生 入 会 金	396,000	374,000	△ 22,000	187名
維 持 会 費	816,000	1,000,000	184,000	
卒 業 生 の 集 い 会 費	0	0	0	
そ の 他 の 収 入	40,926	1,000	△ 39,926	受取利息ほか
繰 越 金	497,247	779,791	282,544	
収 入 合 計	4,226,973	5,005,991	779,018	

支出の部

運 営 費	会 議 費	159,780	160,000	220	
	印 刷 費	32,283	40,000	7,717	
	通 信 費	32,700	40,000	7,300	
	消 耗 品 費	746,202	600,000	△ 146,202	名簿管理費(10月まで)ほか
	交 際 費	30,750	50,000	19,250	
	卒 業 生 支 援 金	162,000	180,000	18,000	
	合 同 同 窓 会 分 担 金	64,400	69,600	5,200	30,000＋卒業生×200
事 業 費	活 動 費	6,455	20,000	13,545	
	雑 費	28,884	30,000	1,116	振込み手数料など
	会 報 印 刷 費	1,150,065	1,100,000	△ 50,065	予算内で印刷
	会 報 発 送 費	770,35	800,000	29,650	再発送費含む
	行 事 費	8,313	550,000	541,687	HCD・六浦祭など
	生 徒 会 援 助 金	150,000	150,000	0	
	積 立 金	0	200,000	200,000	
	予 備 費	105,000	1,016,391	911,391	
	支 出 合 計	3,447,182	5,005,991	1,558,809	
	時 期 繰 越 金	779,791	0		
	合 計	4,226,973	5,005,991	779,018	

◆在校生預り金合計

収入の部

法 人 預 け 金 繰 入	2,418,475	3,027,400	608,925	4月末残高
そ の 他 の 収 入	203,866	2,000	△ 201,866	受取利息
収 入 合 計	2,622,341	3,029,400	407,059	

支出の部

58回生会費（一般会計へ）	2,476,800	2,851,200	374,400	198名分
手 数 料	840	1,680	840	振込手数料
次 期 繰 越 金	144,701	176,520	31,819	
支 出 合 計	2,622,341	3,029,400	407,059	

◆積立金合計

収入の部

一 般 ・ 行 事 ・ 名 簿	0	200,000	200,000	
そ の 他 の 収 入	1,339	2,000	661	受取利息
収 入 合 計	1,339	202,000	200,661	

2011年入試 関東学院六浦中学校 入学試験要項（抜粋）

		A日程試験	B日程試験	C日程試験	2次試験
入試試験日		2月1日(火)午前	2月2日(水)午前	2月4日(金)午後	2月5日(土)午後
募集人員		男女 40名	男女 20名	男女 30名	男女 20名
		(帰国生男女若干名)	(帰国生男女若干名)	(帰国生男女若干名)	(帰国生男女若干名)
		※帰国生の選抜方法等は、別に定める“帰国生入試要項”を参照ください ※いずれも本学院六浦小学校からの進学者を含みません			
試験教科		全日程とも、4教科(国語・算数・社会・理科)			
出願資格		・2011年3月 小学校卒業見込みの者 ・本校の教育基本方針に賛同する者 ※本校の教育基本方針等は、『学校案内』(パンフレット)を参照ください			
出願書類		入学志願票・受験票(本校指定)			
出願期間	1月	1月12日(水)～1月31日(月) 9:00～15:00 ※1月16日(日)・1月23日(日)・1月30日(日)を除く			
	2月		各試験、試験開始時間の20分前まで出願できます		
入学検定料		各日程20,000円 ※銀行振り込み(1月の出願期間中の土曜日および2月中は願書受付窓口でも可) ただし、 <u>上限額を40,000円として、超過した分の入学検定料は免除とします。</u>			
時間・点数配分		国語・算数(各45分・各100点) 社会・理科(両教科で50分・各50点)			
試験科目と時間	開 場 7:50 集 合 8:50 国 語 9:00～9:45 算 数 10:00～10:45 社 会 11:00～11:50	開 場 7:50 集 合 8:50 国 語 9:00～9:45 算 数 10:00～10:45 社 会 11:00～11:50	開 場 13:30 集 合 14:50 国 語 15:00～15:45 算 数 16:00～16:45 社 会 17:00～17:50	開 場 13:30 集 合 14:50 国 語 15:00～15:45 算 数 16:00～16:45 社 会 17:00～17:50	
合格発表表	インターネット表示	2月1日(火) 16:00～2月2日(水) 正午	2月2日(水) 16:00～2月3日(木) 正午	2月4日(金) 21:00～2月5日(土) 正午	2月5日(土) 21:00～2月6日(日) 正午
	掲 示	2月1日(火) 16:00～18:00 2月2日(水) 9:00～正午	2月2日(水) 16:00～18:00 2月3日(木) 9:00～正午	2月5日(土) 9:00～正午	2月6日(日) 9:00～正午
選抜方式		4教科総合 もしくは 個人の上位2教科による選抜			
入学手続	合格通知受渡	各日程の掲示での合格発表時間内に、必ず合格通知をお受け取りください。		2月5日(土) 9:00～正午まで	2月6日(日) 9:00～正午まで
	納入	2月5日(土) 正午まで			2月6日(日) 9:00～正午まで
願書付の入試要項は、9月下旬の完成予定です					

※ 提出された書類、納入された入学検定料・入学金はお返し致しません。

維持会費のご協力をお願い

2010年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は同封の郵便振込用紙をご利用の上、4,000円(手数料別)お振込下さい。よろしくお願い申し上げます。コンビニエンスストアのATM機からも出来ます。

銀行名:ジャパンネット銀行(銀行コード:0033) 支店名:本店営業部(支店番号:001)
口座番号:4543584 口座名義:関東学院 六葉会(カントウガクイン ロクヨウカイ)